

市へ質問

平成20年初の一般質問

市政執行方針、教育行政執行方針に対して11名が登壇、論議を交わす・



**集中改革プラン上回る
改革を前倒し実施**
高橋 正美

【質】 2008年度予算編成における財政健全化に向けた方策は。

【答】 昨年の中期財政見通しでは、集中改革プランを完遂しても、2010年度までに28億2千万円の収支不足が出る。そこで、2010年度までを財政健全化期間と位置付け、今年度は職員給与の削減・旅費・需用費及び役務費の削減、公用車の集中管理の実施、高利率市債の繰上償還、遊休不動産の売却、基金の計画的運用と適切な活用のほか恵寿園の事業運営の民間移譲などを盛り込んだ。



**少子化対策の
充実を!**
渡辺 勉

【質】 「他の町より、登別に移り住んだ方がずっと子どもを産み、育てやすい」そんな声が市内にあふれたら、人口はもろろん、市税の収入も、商店の売り上げも増える。子どもを産み育てる世代向けの政策を大事にしていくべき。私立幼稚園特別就園奨励費補助金廃止は時代に逆行している。給食費無料化、医療費中三まで無料化など「産みやすい！育てやすい」政策を打ち出すべき。

【答】 財政難の折、今でも子育て支援など多くの事業を行っている。



**教職員評価制度の
現状と課題**
成田 昭浩

【質】 教職員評価制度について、「教師の目標が生徒ではなく管理者に向いてしまふ」「評価目標以外のことについては一切やらないようになる」などの疑問が寄せられているが、どう捉えているか。

【答】 職員の資質向上、学校の活性化、その成果を児童生徒に還元することが目的である。児童生徒の実態や校務分掌、組織の状況を踏まえた改善が示されるといった成果が上げられる一方、自己目標の設定などについての課題もある。



**後期高齢者医療
制度について**
平田 江美子

【質】 後期高齢者医療制度においても、無料健康診断を継続すべきではないか。

【答】 健診料は、原則一割負担となるが、高齢者の経済負担の軽減を図るため、所得に応じて無料受診も可能。

【質】 保険料の分納に対して、市の考えは。

【答】 年金天引きの場合は分納は難しい。

【質】 低所得者対策として、法定減免の他に市独自の軽減策は。

【答】 市独自減免は考えてない。



単独自立の議論を!
赤根 広介

【質】 広域合併については、今年度より6市町にて、(仮称)「西胆振地域づくりビジョン」の策定に向けた取り組みが始まる。

【答】 しかし、登別市単独自立の議論も同時にしていくべきと主張し、今後も調査研究していく決意を伝えた。

【質】 はしかは、成人が感染すると重篤になる場合が多く何とか対策は。それにより今年度より、予防接種の機会が増えるので、対象となる市民へ、積極的に利用促進のため周知を図りたい。



**徹底的な経費削減
努力をすべき**
熊野 正宏

【質】 市政執行方針の展開にあたり、担当部局毎に「部門別管理目標」を設定し、徹底的な経費削減努力をすべきと質した。

【答】 さらに、施策展開にあたっては、管理職自らが数値目標を定めるべきと、管理職の役割などについても言及した。

【質】 上野市長の5期20年間の総括を問うとともに、次期市長選に臨む姿勢を明らかにすべきと求めた。これに対し、市長は課題は残っているものの一定の方向付けができた。今後は、優秀な人に託したいと述べ、勇退を表明された。